

計算書類に対する注記(法人全体用)

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産
 - 平成19年3月31日以前に取得したもの：旧定額法
 - 平成19年4月1日以降に取得したもの：定額法
- ・無形固定資産－定額法
- ・リース資産
 - 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
 - リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金－東京都社会福祉協議会の退職共済制度において、法人の負担する掛金額を退職給付引当資産とし、同額を退職給付引当金とする方法によっています。また、法人独自で採用する退職金制度については、当期期末在籍者に対する期末要支給予定額を算定し、退職給付引当金に計上しております。
- ・賞与引当金－職員賞与の翌期支給見込額の内、当期の負担に属する金額を計上しております。

2. 法人で採用する退職給付制度

職員の退職金の支給に備えるために東京都社会福祉協議会の退職共済制度に加入しております。東京都社会福祉協議会については、法人の負担する掛金額を退職給付引当資産とし、同額を退職給付引当金に計上しております。法人独自で規程する退職金制度については、当期の負担に属する金額を、退職給付費用及び退職給付引当金に計上しております。

3. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人が作成する財務諸表は以下のとおりになっております。

- (1) 法人全体の計算書類(第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式)
- (2) 事業区分別内訳表(第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式)
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
- (4) 公益事業における拠点区分内訳表(第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
- (5) 収益事業における拠点区分内訳表－当法人では収益事業を実施している拠点区分が1つのため作成しておりません。
- (6) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
 - ア 法人本部拠点(社会福祉事業)
 - 「法人本部」
 - イ 足立翔裕園拠点(社会福祉事業)
 - 「特別養護老人ホーム足立翔裕園」
 - 「短期入所事業足立翔裕園」
 - 「認知症対応型デイサービスセンター入谷翔裕園」
 - 「地域包括支援センター入谷」
 - 「居宅介護支援事業入谷居宅介護支援事業所」
 - ウ 大田翔裕園拠点(社会福祉事業)
 - 「特別養護老人ホーム大田翔裕園」
 - 「短期入所事業大田翔裕園」
 - 「デイサービスセンター大田翔裕園」
 - 「認知症対応型デイサービスセンター大田翔裕園」
 - 「居宅介護支援事業大田翔裕園居宅介護支援事業所」
 - エ 竹の塚翔裕園拠点(社会福祉事業)
 - 「特別養護老人ホーム竹の塚翔裕園」
 - 「短期入所事業竹の塚翔裕園」
 - 「認知症対応型デイサービスセンター竹の塚翔裕園」
 - 「居宅介護支援事業竹の塚居宅介護支援事業所」
 - オ 潮見老人ホーム拠点(社会福祉事業)
 - 「養護老人ホーム潮見老人ホーム」
 - カ 茂ホーム拠点(社会福祉事業)
 - 「軽費老人ホーム茂ホーム」
 - 「認知症高齢者共同生活介護花街道」
 - 「デイサービスセンター谷中翔裕園」
 - 「認知症対応型デイサービスセンター谷中翔裕園」

- 「訪問介護やなかケアサービス」
- 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護やなかケアサービス」
- 「居宅介護支援事業谷中居宅介護支援事業所」
- 「やなか訪問看護ステーション」
- キ 大田ナーシングホーム翔裕園拠点(公益事業)
 - 「介護老人保健施設大田ナーシングホーム翔裕園」
 - 「大田ナーシングホーム翔裕園通所リハビリテーション」
 - 「大田ナーシングホーム翔裕園訪問リハビリテーション」
- ク グループリビングあやせ拠点(公益事業)
 - 「サービス付き高齢者向け住宅グループリビングあやせ」
- コ あやせコミュニティパーク拠点(収益事業)
 - 「不動産賃貸事業」
- サ くめがわ翔裕園拠点(社会福祉事業)
 - 「認知症高齢者共同生活介護」
 - 「看護小規模多機能型居宅介護」
- シ ひがしむらやま翔裕園拠点(社会福祉事業)
 - 「認知症高齢者共同生活介護」
 - 「看護小規模多機能型居宅介護」
- ス めぐりた翔裕園拠点(社会福祉事業)
 - 「認知症高齢者共同生活介護」

4. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりであります。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	2,216,832,012			2,216,832,012
建物	3,160,836,466		200,698,198	2,960,138,268
定期預金	—	—	—	—
投資有価証券	—	—	—	—
合計	5,377,668,478	0	200,698,198	5,176,970,280

5. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

器具備品を除却したことに伴い、国庫補助金等特別積立金4円を取崩した。

6. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりであります。

土地(基本財産)	
足立翔裕園	1,096,460,000 円
竹の塚翔裕園	746,472,012 円
茂ホーム	173,900,000 円
ひがしむらやま翔裕園	200,000,000 円
小計	2,216,832,012 円
建物(基本財産)	
足立翔裕園	743,102,516 円
大田翔裕園	774,667,581 円
竹の塚翔裕園	819,480,499 円
茂ホーム	234,580,039 円
ひがしむらやま翔裕園	388,307,633 円
小計	2,960,138,268 円
建物(固定資産)	
グループリビングあやせ	293,598,303 円
不動産賃貸事業	33,240,232 円
大田ナーシングホーム翔裕園	419,104,400 円
小計	745,942,935 円
計	5,922,913,215 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりであります。

独)福祉医療機構からの設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む)	
大田翔裕園	42,550,000 円
大田ナーシングホーム翔裕園	132,460,000 円
竹の塚翔裕園	344,300,000 円
茂ホーム	44,290,000 円
小計	563,600,000 円

東日本銀行からの設備資金借入金(1年内返済予定額を含む)	
グループリビングあやせ	286,093,427 円
不動産賃貸事業	30,093,650 円
茂ホーム	186,052,923 円
小計	502,240,000 円
足立成和信用金庫からの設備資金借入金(1年内返済予定額を含む)	
足立翔裕園	61,460,000 円
大田翔裕園	14,606,000 円
大田ナーシングホーム翔裕園	12,186,000 円
竹の塚翔裕園	209,608,000 円
ひがしむらやま翔裕園	319,546,000 円
小計	617,406,000 円
計	1,683,246,000 円

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりであります。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	6,775,174,645	3,815,036,377	2,960,138,268
建物(固定資産)	1,581,344,915	834,300,084	747,044,831
構築物	16,032,500	8,032,259	8,000,241
機械及び装置	698,500	10,302	688,198
車輛運搬具	7,052,096	6,809,079	243,017
器具及び備品	738,482,838	499,732,654	238,750,184
有形リース資産	107,040,720	45,827,586	61,213,134
権利	46,227,281	14,995,728	31,231,553
ソフトウェア	88,837,254	44,011,867	44,825,387
合計	9,360,890,749	5,268,755,936	4,092,134,813

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損

該当なし

9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

10. 重要な偶発債務

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. リース取引関係

ファイナンスリース取引

・所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

有形リース資産

・ESCO取引 LED照明・照明調光制御・空調設備・空調制御によるもの(建物)

13. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

前払費用について、支払資金の範囲であるものと、1年基準により長期前払費用から振り替えられたものの内訳は以下のとおりであります。

(単位:円)

	当年度	前年度
支払資金の範囲である前払費用	4,629,891	4,232,505
1年基準による振替額	1,303,272	1,211,896
合計(前払費用計上額)	5,933,163	5,444,401